

5.2 実証実験

5.2.1 平成25年度アンケート調査票

○ 調査票A：世帯票（表面）

～ 世 帯 票 ～

※ご家族のどなたが回答されても結構です

・「世帯票」では、世帯構成や自動車保有などをお聞きます。

・なお、ご記入頂いた後は、「個人票」（1枚～3枚）と一緒に返信用封筒に入れて11月15日（金）までにポストに投函してください。

世帯票

個人票

返信用封筒

※以下の質問について、該当する番号に○をつけるか、（ ）内に必要な記入をお願いします。

(1) 同居しているご家族の状況は、どれにあてはまりますか。（1つに○）

1. ひとり暮らし

2. 夫婦のみ

3. 2世代（親と子など）

4. 3世代（祖父母、親、子など）

5. その他（ ）

(2) 同居しているご家族それぞれの性別、年齢、運転免許の有無を教えてください。（1つに○）

	性 別	年 齢	持っている運転免許
1人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
2人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
3人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
4人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
5人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
6人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
7人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
8人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし
9人目	1. 男性 2. 女性	（ ） 歳	1. 自動車運転免許あり 2. 原付・二輪のみ免許あり 3. なし

(3) 世帯で保有されている車両の台数を教えてください。

自動車（ ）台、

バイク[原付・自動二輪]（ ）台、

自転車（ ）台、

電動車いす・シニアカー（ ）台

(4) ご家族専用の自動車の駐車スペースをお持ちですか？

1. 駐車スペースがある

2. 駐車スペースは無い

※何台分ありますか？

所有が（ ）台分、賃貸が（ ）台分

(5) お住まいの住所を教えてください。

（ ） 区 （ ） 町 （ ） 丁目

※さらに、ウラ面の地図に、ご自宅のおおよその場所を●でマークしてください。

ウラ面へ進んでください

84

○ 調查票 A：世帯票（裏面）

下の地図に、ご自宅の場所を

● 印で、マークしてください。

※お分かりになる範囲で、
おおよその場所をお教えてください

この「世帯票」は、「個人票」と一緒に
 返信用封筒に入れて、返送をお願いします。
 ※11月15日（金）が締め切りです。

※以下の質問について、該当する番号に○をつけるか、()内に必要な記入をお願いします。

(1)性別 (1つに○)

(2) 年齢 (1つに○)	1. 10代 6. 60代	2. 20代 7. 70代	3. 30代 8. 80歳以上	4. 40代	5. 50代
(3) ご職業 (1つに○)	1. 会社員・公務員 4. アルバイト・パート 7. 無職	2. 会社役員・団体役員 5. 専業主婦・主夫 8. その他	3. 自営業 6. 大学生・専門学校生		
(4) あなたは、自動車・バイクを運転されますか (1つに○)	1. 頻りに運転する 5. その他	2. たまに運転する 4. 全く運転しない			
(5) あなたは、自由に使える自動車・バイクをお持ちですか (1つに○)	1. いつでも自由に使える車両がある 3. 自由に使えることが多い 5. その他	2. ある程度自由に使える車両がある 4. 自由に使えない			

(1) 普段の外出で、次の交通手段を概ねどのくらい利用していますか。※徒歩は除く

移動手段	利用回数 (運送より乗客を記入)	移動手段	利用回数 (運送より乗客を記入)
車(自分で運転する)	()	路線バス	()
車(家族に送迎してもらう)	()	アストラムライン	()
車(近所・知人の送迎してもらう)	()	タクシー・ハイヤー	()
バイク・原付	()	電動車いす(シニアカー)	()
自転車	()	その他の手段()	()

①ほぼ毎日 ②週5日 ③週3～4回 ④週1～2回 ⑤月2～3回 ⑥月1回程度
 ⑦年に何回程度 ⑧全く利用しない ⑨その他()

(2) 仮に、自宅からバス、アストラムラインを利用する場合、乗車するバス停・駅の名前、そこまでの主な移動手段、所要時間を教えてください。 ※利用しない方も、想像してお答えください

バス停名	(
------	---

バス停名	(	停留所
バス停までの移動手段 (1つ○)	1. 車(自分で運転) 2. 車(家族の送迎) 3. 車(近所・知人の送迎) 4. バイク・原付 5. タクシー・ハイヤー 6. 自転車 7. 電動車等(シェアカー) 8. 徒歩 9. その他()	
所要時間	自宅からバス停まで、約()分	

駅名	(
----	---

駅名	() 駅							
駅までの移動手段 (1つ○)	1. 車(自分で運転)	2. 車(家族の送迎)	3. 車(近所・知人の送迎)	4. バイク・原付				
	5. 路線バス	6. タクシー・ハイヤー	7. 自転車	8. 電動車・す (シニアカー)				
	9. 徒歩	10. その他 ()						
所要時間	自宅からアストラムライン駅まで、約 () 分							

「ア」最も頻度が多い外出目的などについて

①次の“1～9”の中で、日常生活において最も頻度が多い「外出目的」は何ですか。(1つに○)

②その「目的」で外出する回数は、どのくらいですか。(1つに○)

1. 通勤	2. 通学	3. 買物	4. 通院	5. 業務	6. 趣味・娯楽
7. 子どもの送迎	8. その他家族の送迎	9. その他			

1. ほぼ毎日	2. 週5回	3. 週3～4回	4. 週1～2回
5. 月2～3回	6. 月1回程度	7. 年に数回程度	8. その他()

②その「目的」で外出する回数は、どのくらいですか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週5回
3. 週3～4回
4. 週1～2回
5. 月2～3回
6. 月1回程度
7. 年に数回程度
8. その他()

③その「目的」の主な行き先はどこですか。(1つに○)

■行き先は？

※ ●●スーパー、●●医院、●●公民館などの施設名称、あるいは「会社」「大学」「友人宅」などと記載してください。

■その場所は？:(1. 自宅と同じ団地・地区 2. 自宅がある団地・地区の周辺 3. 自宅から距離がある)

④その行き先まで、よく利用する移動経路の交通手段は何ですか。

※例えば、「バス→アスラムタイム→IR」の3つを乗りつぐ場合は、それぞれの手段に0してください。

1. 車(自分で運転)	3. 車(家族の送迎)	3. 車(住所・知人の送迎)	4. バイク・原付
5. 路線バス	6. アストラムライン	7. JR	8. タクシー・ハイヤー
9. 自転車	10. 電動自転車(シニアカー)	11. 徒歩のみ	12. その他()

〔イ〕2番目に頻度が多い外出目的などについて

①次の“1～9”の中で、2番目に頻度が多い「外出目的」は何ですか。(1つに○)

※上記の“[ア]①”と違う「目的」をお答えください

1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 業務 6. 趣味・娯楽
7. 子どもの送迎 8. その他家族の送迎 9. その他 ()

②その「目的」で外出する回数は、どのくらいですか。(1つに○)

1. ほぼ毎日
2. 週5回
3. 週3～4回
4. 週1～2回
5. 月2～3回
6. 月1回程度
7. 年に数回程度
8. その他()

③その「目的」の主な行き先はどこですか。(1つに○)

※●スーパー、●●医院、●●公民館などの施設名称、あるいは「大学」「友人宅」などと記載してください。

■行き先けつ

■その場所は?: (1. 自宅と同じ団地・地区 2. 自宅がある団地・地区の周辺 3. 自宅から距離がある)

④その行き先まで、よく利用する移動経路の交通手段は何ですか。

※例えば、「バス→アストラムライン→IR」の3つを乗りつぐ場合は、それぞれの手配に0してください。

1. 車(自分で運転)	2. 車(家族の送迎)	3. 車(近所・知人の送迎)	4. バイク・原付
5. 路線バス	6. アストラムライン	7. JR	8. タクシー・ハイヤー
9. 自転車	10. 電動自転車(シニアカー)	11. 徒歩のみ	12. その他

ウラ面へ進んでください

○ 調査票B：個人票（裏面）

【質問3】 普段の外出の満足度や問題についておたずねします

(1) あなたは、日常生活での移動（徒歩で近所まで移動する場合は除く）に満足していますか。(1つに○)

1. とても満足 2. 満足 3. 不満 4. かなり不満

(2) 日常生活の移動（徒歩で近所まで移動する場合は除く）に関して、次のような問題を感じていますか。(あてはまるものを全てに○)

1. 自宅のまわりの坂道が多くて、歩行・自転車での移動が大変
2. よく訪問する店舗や病院が遠いため、自動車・バイクを使わざるを得ない
(ガソリン代等の費用がかかるため、できれば使いたくない)

3. 利用したい時に、家の自動車を使えない時がある

4. 自動車の運転が得意ではない

5. 自宅の周りに細い道路が多くて、自動車の運転が不安

6. 自動車の維持費が高い（保険、税金、ガソリン代など）

7. 駐車場の確保が大変（場所がない、賃料が高い）

8. 自宅からバス停やアストラム駅まで遠い

9. 路線バスの本数が少ない

10. 年齢とともに、自動車の運転が怖くなった

11. 年齢とともに、歩行・バイクの運転が怖くなった

12. 年齢とともに、歩行が太りやすくなった（・・・体感して分かるのは（ ）分くらい）

13. その他（※具体的に、移動に関する問題をお書きください）

14. 移動に関して何も問題はない

【質問4】 超小型モビリティに関するおたずねします

(1) あなたは「超小型モビリティ」について、どの程度知っていましたか。(1つに○)

1. よく知っている 2. おおよそ、どのような車か知っていた 3. 名前・写真を見開きした程度だった
4. 今回始めて知った 5. その他（ ）

(2) あなたは「超小型モビリティ」に興味がありますか。(1つに○)

1. とても興味がある 2. まあまあ興味がある 3. あまり興味がない 4. 全く興味がない

(3) あなたは「超小型モビリティ」をどのように感じますか？（あてはまるものを全てに○）

1. 軽自動車より小さいから、気軽に外出できそう
2. 軽自動車より小さいから、細い道でも運転できそう
3. 軽自動車より小さいから、運転・駐車が楽そう
4. 自宅の駐車スペースが小さくて済むのが良い
5. 原付と違い、運転があるから、雨天での移動が便利
6. 2人乗りだと、原付と違い、家族等を乗せることができ便利
7. 見た目がスマート、カッコいい、カッコいい
8. 近所を走っていったら、まわりのイメージが良くなる
9. 電気自動車、環境にやさしいのが良い
10. 運転自体が楽しそう
11. 車体が小さいから、危険そう
12. 1～2人乗りだと、乗車人数が少なくて不便
13. 1回の充電で走行できる距離が短くて不安
14. 速度（最高速度60～80km/h）が遅くて不便
15. 自動車で十分だと思う
16. 何が便利なのか分からない
17. その他（ ）

(4) 「超小型モビリティ」が手軽に借りられるカーシェアリングについて、おたずねします。（回答するウラ面）もご覧ください

※ 次のようなサービスがあることを想定して、お答えください。

- 貸出・返却の場所が、自宅の近所、主要バス停・アストラム駅付近、大型スーパー等に設置される
- 走行できる範囲は、おおむね西宮新都エリア内に限定する（西宮新都エリアは、「世帯票のウラ面」の地図の範囲）

① もしも、ご自宅の近所に、上記の「超小型モビリティ」の「カーシェアリング」があれば、利用すると思いますか。(1つに○)

1. 利用すると思う 2. 利用しないと思う

※ その理由は？

② この「超小型モビリティ」の「カーシェアリング」を利用する状況を想像して、お答えください

(ア) 利用する主な目的は？ (2つまでに○)	1. 買い物 2. 通院 3. 子どもの送迎 4. その他家族の送迎
(イ) 利用回数の予想は？ (1つに○)	5. バス停・アストラム駅までの通勤・通学での移動 6. 趣味・娯楽 7. その他（ ）
(ウ) 利用しやすい 予約の方法は？ (あてはまるものを全てに○)	1. ほぼ毎日 2. 週5回 3. 週3～4回 4. 週1～2回 5. 月2～3回 6. 月1回程度 7. 年に数回程度 8. その他（ ）
(エ) 支払ってもよい、 利用料金の上限は？	1. 窓口で電話して予約 2. 自宅等のパソコンからインターネットで予約 3. 携帯電話・スマホから予約 4. その他（ ）
(オ) 利用してもよい、貸出 場所までの距離は？	1時間あたり（ ）円まで、1カ月なら（ ）円まで 自宅から徒歩で約（ ）分までの距離

質問は以上です

③ この「カーシェアリング」が利用できると、今よりも外出する回数が増えると思いますか。(1つに○)

1. 外出が増えると思う 2. 変わらない

※ どのような目的で増えると思いますか？

④ この「カーシェアリング」を使って、自宅近くから、バス停・アストラム駅まで移動できれば、公共交通の利用回数が増えると思いますか。(あてはまるものを全てに○)

1. バス利用が増える 2. アストラム利用が増える 3. 変わらない

※ どのような目的で増えると思いますか？

⑤ 「超小型モビリティ」の「カーシェアリング」を利用する場合、あなたの普段の生活において、どのような利用方法が考えられますか？（できるだけ具体的な内容をイメージして、お答えください）

- (例えば) ・ 今の買物では、原付を使っているが、雨が降った時はこのカーシェアリングを使いたい など
・ 今の通勤では、原付で送迎してもらえれば、カーシェアリングでできるのであれば使いたい など

記入した調査票は、「世帯票」と一緒に返信用封筒に入れて、返送をお願いします。(11月15日締め切り)
質問は以上です。ご協力ありがとうございます。

○ 超小型モビリティの説明チラシ（表面）

次世代自動車

<オモテ面>

※裏面はカーシェアリングについて

『超小型モビリティ』とは

軽自動車よりもコンパクトな1～2人乗りの電気自動車です。
交通の省エネルギー化に貢献するとともに、高齢者を含むあらゆる世代に、
手軽な移動手段を提供し、生活や移動の質の向上をもたらすことが期待されています

省エネ・少子高齢化時代の
「新たなカテゴリー」の乗り物



※この2車種は例です

ニッサン
ニューモビリティ
コンセプト



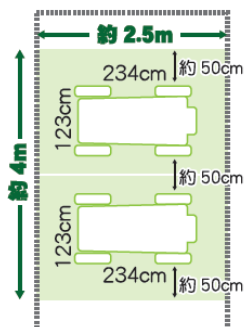
トヨタ車体
COMS(コムス)

超小型モビリティの特徴

※車両の性能は各車種によって異なります

■ 軽自動車より小さいコンパクトサイズ

狭い路地でも快適に走れ、
普通車1台分のスペースに2台駐車できます



普通自動車1台分の駐車サイズ
(約 5m×2.5m)

※車体サイズは「ニッサンニューモデルコンセプト」

■ 最高速度 60km/h～80km/h*

一般道でも流れに乗って走行できます

■ 走行可能距離 約 50～100km*

1回の充電で近距離なら何度でも往復できます

■ エネルギー消費量は普通車の1/6

電気自動車なので排出ガスも出しません

軽自動車よりも小さい
電気自動車です

第一種原動機付 自転車

- ・乗車定員1人
- ・最大積載量 30kg まで
- ・衝突基準なし
- ・車検なし
- ・高速道路走行不可

超小型モビリティ



- ・乗車定員
1～2人程度
- ・高速道路走行不可

軽自動車

- ・乗車定員 4人
- ・最大積載量 350kg まで
- ・衝突基準あり
- ・車検あり
- ・高速道路走行可

国土交通省では平成 25 年 1 月に新たな認定制度を創設しました。

現在はまだ、超小型モビリティは公道上での走行が認められていません（※）が、
国の認定を受けた地域においては、実用化に向けて、さまざまな実証実験が行われています。

※COMS(コムス)は車両運送法上、第1種原動機付自転車に区分され、現在でも公道上を走行できます。

取組み例

神奈川県横浜市
広島県大崎上島町

中心市街地における居住者や観光客用のカーシェアリング
島内における観光客用のレンタルサービス

(国土交通省及び各社ホームページ等より作成)

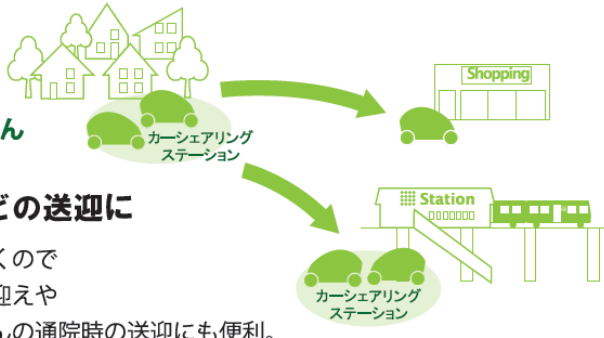
○ 超小型モビリティの説明チラシ（裏面）

<ウラ面>
※表面は超小型モビリティについて

「超小型モビリティ」の活用方法のひとつとして
手軽にちょっとだけ借りられる**カーシェアリング**※があり
横浜市などで実証実験が行われています

※「カーシェアリング」とは、手軽に自動車をレンタルできる会員制サービスのことです

**もしも、超小型モビリティの
カーシェアリングが利用できれば、
こんな使い方ができるかもしれません**





子どもや高齢者などの送迎に

2人乗りで、小回りもきくので
子どもの習い事への送り迎えや
おじいちゃんおばあちゃんの通院時の送迎にも便利。



ちょっとした買い物に

いつもは自転車で買い物に行くけれど
重くて運ぶのが大変なお米やペットボトルなどの買い物をする時や
雨の日の買い物にも便利。



通院や外出に

大きい自動車だと駐車場に止めるのが一苦労だけど
小さいので運転しやすいし、駐車もラクラク
気軽に出かけられる。



仕事からの帰宅時に

会社からの帰宅が遅くなった時に
駅まで迎えにきてもらう代わりに、スマートフォンで予約して
家の近くまで自分で運転して帰れるので安心。



旅行時の駅までの移動に

宿泊旅行に出かける時に駅まで乗って行っても
駐車場の心配もいらないし、
帰りも予約しておけば、駅から自分で運転して帰ってこれるので安心。

広島市 都市整備局 西風新都整備部（電話：082-504-2659）

5.2.2 平成26年度アンケート調査票

○ 依頼文

超小型モビリティ実証実験 参加モニターのみなさまへ 調査ご協力のお願い

皆様におかれましては、「超小型モビリティ実証実験」にモニターとしてご参加頂き、誠にありがとうございます。

この度の「超小型モビリティ実証実験」は、手軽で環境にやさしい乗り物である超小型モビリティの活用により、地域内での移動の円滑化や高齢者・子育て世代の外出機会の増加、また公共交通の利用促進や補完等につながる新たな交通手段としての可能性について検討を行うことを目的としています。

そのため、モニターの皆様へ、実験期間中に超小型モビリティを活用された目的や走行経路、効果、問題点などのご意見を頂くため、アンケート調査を実施します。

ご面倒をおかけし大変恐縮ですが、実証実験の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成26年10月

広島市都市整備局西風新都整備部

アンケート調査について

■調査結果の扱いについて

- 今回の調査結果は、前述の目的以外で使用することはございません。
- 今回の調査結果より、個人が特定できるような回答を公表することは一切ありません。

■調査票の種類、記録のタイミング

- 3種類のアンケート調査票をお配りしています。（※グループの代表者は4種類です）

記録のタイミング	主な記載内容	調査票の色	回収方法
①実験開始前 ・本日の安全運転講習にて	モニターの皆さんの普段の移動手段やモニター参加理由など	水色	調査票はすべてをまとめて、付属の封筒により郵送してください。 (郵送先は、市がアンケート調査の集計、分析を委託している(株)地域未来研究所となります)
②実験期間中 ・超小型モビリティを利用された後（毎回記録）	超小型モビリティを利用した状況（経路や目的地など）	白色	
③実験終了後 ・貸与期間が終了した後	超小型モビリティを活用するアイデアやご意見、今後の利用意向など	ピンク色	
	※グループの代表者のみ 車両の共同利用や、車両を管理する際の問題点、課題など	緑色	

なお、調査終了後、ヒアリングに応じていただく場合がありますので、その際はご協力よろしくお願いいたします。

【実証実験、アンケート調査の問い合わせ先】

広島市 都市整備局 西風新都整備部（担当 村上、大川）

電話：082-504-2659 FAX：082-504-2678

メール：seifu-seibi@city.hiroshima.lg.jp

【アンケート調査委託先】

(株)地域未来研究所 中国四国事務所（担当 田中）

○ 実施前アンケート調査

超小型モビリティ実証実験 モニターアンケート調査(実施前用)

※該当する番号に○をつけるか、() 内に必要な記入をお願いします。



【質問1】 あなたご自身のことについておたずねします

(1) 氏名			
(2) 世帯の自動車・バイクの保有台数	軽自動車 () 台 / 普通自動車 () 台 / バイク・原付 () 台		
(3) あなたは自由に使える自動車・バイクをお持ちですか (1つに○)	1. いつでも自由に使える車両がある 2. ある程度自由に使える車両がある 3. 自由に使えないことが多い 4. 自由には使えない 5. その他 ()	【“1” “2” に○した方にお聞きます】 主にご利用になるのは、どれですか？ 1. 軽自動車 2. 普通自動車 3. バイク・原付	
(4) スマホ・携帯電話の保有 (該当するもの全てに○)	1. スマホを保有 2. 携帯を保有 3. どちらも持っていない		
(5) 交通系ICカードの保有 (該当するもの全てに○)	1. PASPY (パスピー) を保有 2. ICOCA (イコカ) を保有 3. どちらも持っていない		
(6) ご自宅のインターネットの状況 (1つに○)	1. インターネットに接続している 2. インターネットに接続していない		

【質問2】 普段の外出(通勤・通学は除く)で、次の交通手段をどのくらい利用していますか

※買物や通院などの日常生活での移動についてお答えください

交通手段	利用回数 (選択肢より番号を記入)	交通手段	利用回数 (選択肢より番号を記入)
車(自分で運転する)	()	路線バス	()
車(家族に送迎してもらう)	()	アストラムライン	()
車(近所・知人の送迎してもらう)	()	自転車	()
バイク・原付	()		

【利用回数の選択肢】

- ①ほぼ毎日 ②週5日 ③週3～4回 ④週1～2回 ⑤月2～3回 ⑥月1回程度
⑦年に数回程度 ⑧全く利用しない ⑨その他 ()

【質問3】 今回、あなたがモニター参加を希望された理由は何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 普段から交通手段に困っていたから
2. 近所の人に誘われたから
3. 超小型モビリティに乗ってみたかったから
4. その他 ()

【“1” に○した方にお聞きます】 具体的に、どのような事がお困りだったのでしょうか？

※記入例：クルマが1台しかないため、使いたい時に使えない場合がある。

クルマは維持費が高く、台数を減らしたいと考えており、今回の共同利用を試したかった。など

質問は以上です。ありがとうございました。

○ 実施中アンケート調査（下城ハイツ用／表面）

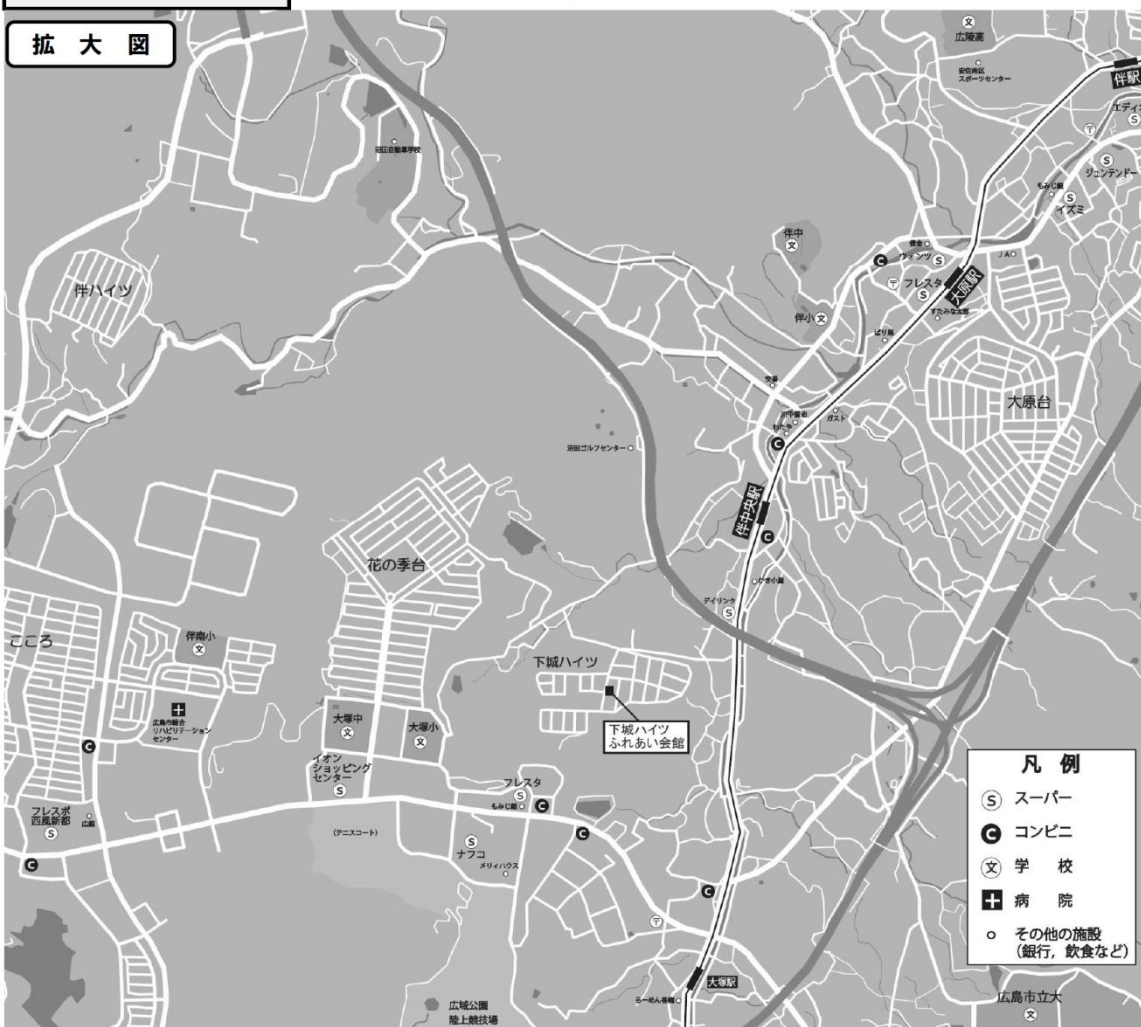
下城ハイツモニター用 超小型モビリティ利用記録票

〔 氏名 〕

【問1】利用日時	【利用日】：____月 ____日（ ____ ）	【利用時間】：（開始） ____時 ____分頃 ～ （終了） ____時 ____分頃
【問2】乗車人数 （1つに○）	1. 1人で利用 2. 2人で利用	※同乗者は、どなたですか？（1つに○） 1. 配偶者 2. 子ども 3. 親 4. 兄弟 5. 友人 6. その他（ ____ ）
【問3】外出目的 （該当するものを全てに○）	1. 買物 2. 通院 3. 趣味・娯楽 4. 送迎 5. 地域活動 6. 家事・雑用 7. 食事 8. その他（ ____ ）	
【問4】目的地 （施設名など）	※今回の外出で立ち寄った“主な目的地・施設名”を3つまでご記入ください ①目的地：____ ②目的地：____ ③目的地：____	
【問5】今回の移動では、アストラムラインやバスに乗り継ぎましたか（1つに○）	1. アストラムラインに乗り継いだ 2. バスに乗り継いだ 3. 乗り継いでない	
【問6】 仮にこの乗り物がなかった場合、どのような方法で移動しますか（主なものを全てに○）	1. 車（自分で運転） 2. 車（家族の送迎） 3. 車（近所・知人の送迎） 4. バイク・原付 5. 路線バス 6. タクシー・ハイヤー 7. 自転車 8. 徒歩のみ 9. 移動しなかった（あきらめていた） 10. その他（ ____ ）	

今回の移動経路を地図に記入

※下図のエリアよりも外側へ移動した場合は、ウラ面の「全域図」に記入してください



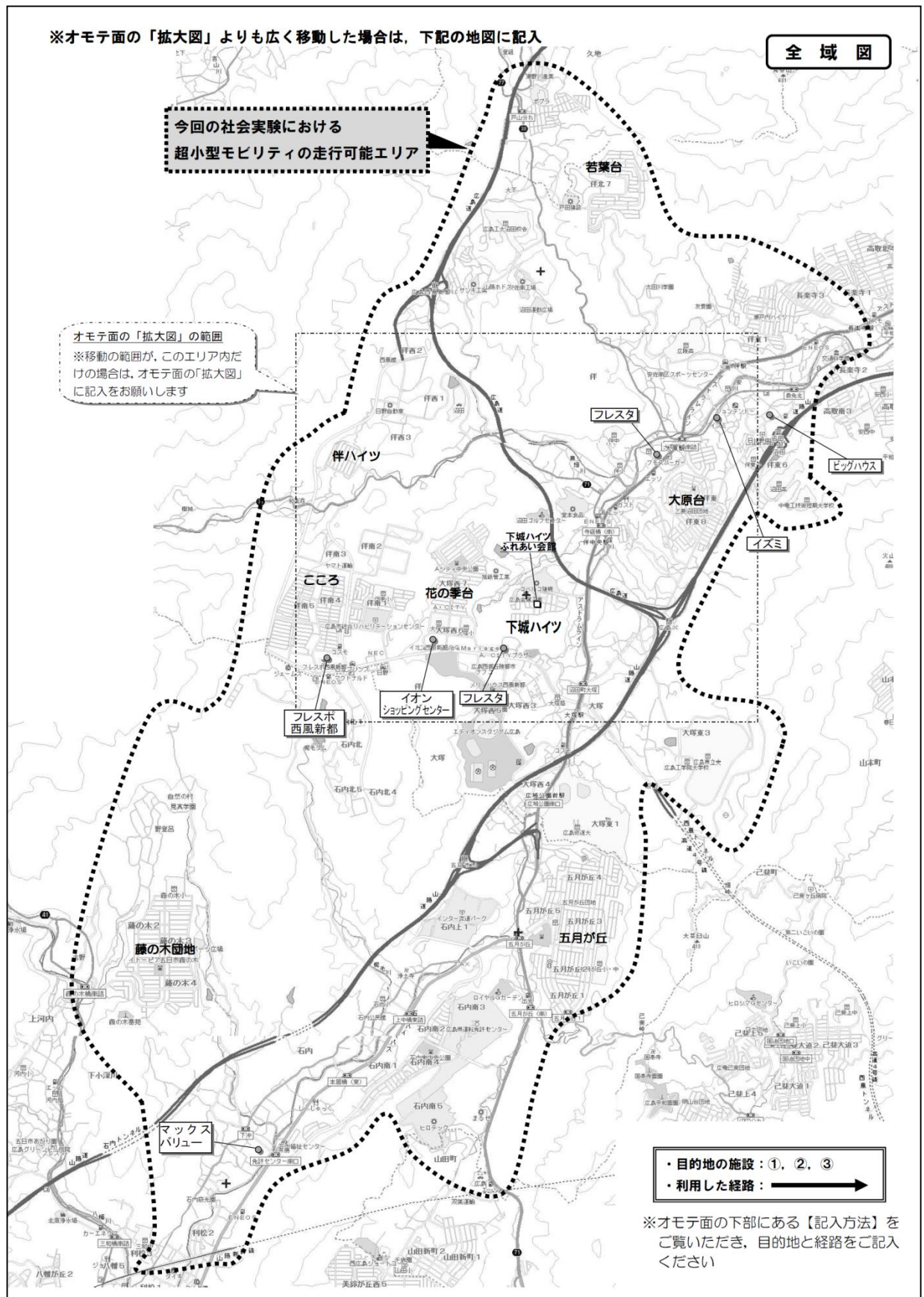
・ 目的地の施設：①，②，③

・ 利用した経路：→

【記入方法】※別紙の「記入例」も参考にしてください。

- 地図に、（問3で回答した）目的地の場所を①，②，③で記入。
- 出発地（集会所や自宅など）から目的地まで、そして目的地から車両の返却場所（集会所や自宅など）までの経路（道路）を“矢印（→）”で記入。

○ 実施中アンケート調査（下城ハイツ用／表面）



超小型モビリティ実証実験 参加モニターアンケート調査票（実験終了時）

■はじめに、氏名をご記入ください。（氏名

※以下の質問について、該当する番号に○をつけるか、（ ）内に必要な記入をお願いします。

【質問１】超小型モビリティの評価について

(1) 実証実験の期間中に、あなたは超小型モビリティを活用しましたか。
(１つに○)

1. 利用した
2. 全く利用していない

【利用しなかった方にお聞きます。】

この度は、どうして利用されなかったのですか。（１つに○）

1. 使いたい時に自宅のクルマが使えた（利用の必要がなかった）
2. 利用するような外出の用事がなかった
3. 利用方法が分からなかった
4. 利用が面倒だった
5. その他（ ）

→3ページの【質問2】へ進んでください

(2) 「超小型モビリティ」を運転された評価を教えてください。（それぞれの項目について、１つだけ○）

・乗り心地	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
・操作性	1. 簡単	2. 普通	3. 難しい
・駐車しやすい	1. 簡単	2. 普通	3. 難しい
・乗り降りのしやすさ	1. 簡単	2. 普通	3. 難しい
・のぼり坂の走行性	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
・車内のスペース（前席）	1. ちょうどよい	2. 少し狭い	3. とても狭い
・車内のスペース（後席）	1. ちょうどよい	2. 少し狭い	3. とても狭い
・車内空間の快適性	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
・窓がないことについて	1. 不便を感じない	2. 少し不便	3. とても不便
・充電のしやすさ	1. 充電しやすい 4. 自分で充電していないから、わからない	2. 普通	3. やりにくい

(3) 普通車や軽自動車に比べて、超小型モビリティの運転をどのように感じましたか。
(それぞれの項目について、１つだけ○)

・運転が楽しい・気持ちいい	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない
・普通車よりも、狭い道路で便利	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない
・普通車よりも、気軽に使えそう	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない
・できれば日常生活で利用したい	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない

(4) 今回の実験であなたが車両を利用した際、車庫はどこでしたか。(1つに○)

1. 自宅の駐車場	2. 自宅以外の場所
-----------	------------

【自宅以外の場所を選択した方にお聞きます。】

①車庫はどこでしたか。(1つに○)

1. 集会所	2. 近所の住宅	3. その他 ()
--------	----------	---------------------------------

②自宅から、車庫までの距離は?・・・概ね () mくらい

③車両を利用される際に、自宅から車庫まで遠く感じましたか。(1つに○)

1. とても遠く不便を感じた	2. まあ遠く感じた
3. あまり遠いと思わなかった	4. 全く遠いと思わなかった

(5) 超小型モビリティを利用したことで、外出する機会が増えましたか。(1つに○)

1. 外出が増えた	2. 増えてないが、利用期間が長ければ増えると思う	3. 変わらない
-----------	---------------------------	----------

(6) 超小型モビリティを利用したことで、行動範囲が広がりましたか。(1つに○)

1. 行動範囲が広がった	2. 広がらないが、利用期間が長ければ広がると思う	3. 変わらない
--------------	---------------------------	----------

(7) 超小型モビリティを利用した際、普通車に比べて、ヒヤリ・ハット*の割合が変わりましたか。(1つに○)

※ヒヤリ・ハットとは、「突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハットとしたりするもの」

1. 変わらなかった	2. 増えた	3. 減った
------------	--------	--------

【増えた方・減った方にお聞きます。】

どのような状況でそう感じましたか。具体的な状況や場所などを教えてください。(可能な範囲で結構です)

(8) 超小型モビリティを実際に利用して、便利だったこと、また問題に感じることはありましたか。もしあれば、具体的な内容を教えてください。

①「**超小型モビリティ**」の利用に関して、便利また問題と感じることにについて

②「**車両の共同利用**」に関して、便利また問題と感じることにについて

○ 実施後アンケート調査票：（3 頁）

【質問2】超小型モビリティへの期待など

(1) 今回のような超小型モビリティの活用により、どのような効果が期待できると思いますか。

（あてはまるもの全てに○）

1. 高齢者や子育て世代の外出支援による地域経済の活性化
2. 公共交通機関の端末交通として活用することで、公共交通の利便性向上
3. マイカー利用の抑制による環境負荷の低減
4. 買物支援などのボランティア活動による地域コミュニティの活性化
5. 地域の見守り活動への活用による犯罪の起こりにくいまちづくりに貢献
6. その他の効果（具体的に

）

(2) この超小型モビリティの共同利用が導入された場合、（買物・通院などの生活日常で）あなたは利用すると思いますか。またその場合、1回あたり、いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。

1. 利用すると思う・・・支払ってもよい額を次の中から選んでください

（ 1. 100 円以下 2. ～200 円 3. ～300 円 4. ～400 円 5. ～500 円 6. 500 円以上）

2. 利用しないと思う

(3) あなたは、地域の暮らしの中でどのように利用すれば、超小型モビリティの活用が進むと思いますか。

（将来、市内の他の地域へ導入することもイメージして、ご意見やアイデアなどをお聞かせください）

(4) 最後に、今回の実証実験や超小型モビリティに関する意見をご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

グループモニター 管理者へのアンケート調査票

※今回、車両や予約状況の管理をされた方にご質問します

はじめに、氏名をご記入ください。

〔氏名

〕

■今回の車両管理や予約に関する以下の質問について、お教えてください。

（１）あなたが代表（管理者）を務められたグループの人数は何人ですか

・・・あなたを含めて（ ）人

（２）今回の実験では、グループ内における各モニターの車両割り当てを、どのようにされましたか？
（該当するもの全てに○をしてください）

1. あらかじめ各モニターの割り当て時間を設定した
2. 各モニターが利用する前日までに、グループ代表に予約の連絡をした
3. 各モニターが利用する当日、空いていれば利用した（予約をしない）
4. その他（ ）

（３）（２）で“2”と答えられた方にお尋ねします。（“2”以外の方は（４）にお進みください。）
利用の希望時間が重複することがありましたか？

1. よくあった
2. たまにあった
3. 無かった

（４）車庫はどのようにされましたか？

（該当するもの全てに○をして、それぞれの場所の駐車日数のおおよその割合をお答えください）

※割合の合計が“10割”になるように、記載してください。

1. 集会所に駐車した・・・・・・・・・・約（ ）割
2. 集会所以外の特定箇所に駐車した（その場所は？）・・・約（ ）割
3. 設定した割り当て時間に応じて、各モニターが自宅に駐車した・・・・・・・・約（ ）割
4. その他（ ）・・・約（ ）割

（５）同じく、車両の“キー”の管理は、どのようにされましたか？（1つに○）

1. 主に、グループ代表が管理した
2. 主に、車両と一緒に、各モニターが自宅で管理した
3. その他（ ）

ウラへ進んでください

○ グループ管理者アンケート調査票：（裏面）

（６）地域のグループにおいて、車両（及びキー）を管理する上でお感じになられた問題点や、改善が望ましい点などがあれば、お教えてください。（可能な範囲で結構です）

（７）今回実施された、各モニターへの車両の割り当て（例えば、利用時間の設定や、予約のやり方など）に関して感じた問題点、改善が望ましいと思う点などがあれば、お教えてください。（可能な範囲で結構です）

（８）超小型モビリティを、どのような方にこういった利用をしてもらえたら良いと思いますか。（可能な範囲で結構です）

（９）もしも今回のような、超小型モビリティなどの”車両の共同利用”を地域に導入すれば、地域はどのように変わると思われますか。
また、導入にあたっての課題や留意点などがあれば、ご記入ください。（可能な範囲で結構です）

質問は以上です。ありがとうございました。

5.2.3 平成 27 年度アンケート調査票

○ 依頼文（参加モニター）

参加モニター用

超小型モビリティ実証実験 参加モニターのみなさまへ 調査ご協力をお願い

皆様におかれましては、「超小型モビリティ実証実験」にモニターとしてご参加頂き、誠にありがとうございます。

本年 8 月 17 日（月）の実験開始から 3 カ月が経過し、終了予定の 11 月 27 日（金）まで、残りわずかとなりました。この間、モニターの皆様には車両の安全運転に努めていただき、感謝申し上げます。

さて、この度の「超小型モビリティ実証実験」は、移動の円滑化・活性化、高齢者等の外出機会の増加等を図るため、昨年度に引き続き、環境に優しく手軽な車両として注目されている超小型モビリティを活用して、新たなまちづくりの可能性を探るために実施しているものです。

特に今年度の実証実験では、ICT 技術を活用したシステムを使って共同利用していただき、地域活動の際の新たな交通手段としての可能性について検討を行うことを目的としています。

このため、システムの利用しやすさや超小型モビリティの活用意向などについて、参加モニターのみなさまからご意見を頂きたいと存じます。

お手数をお掛けいたしますが、実証実験の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成 27 年 11 月

広島市都市整備局西風新都整備部

アンケート調査について

■調査結果の扱いについて

- 今回の調査結果は、前述の目的以外で使用することはございません。
- 今回の調査結果より、個人が特定できるような回答を公表することは一切ありません。

■調査票の回収

- 調査票は、付属の封筒により郵送してください。
（郵送先は、市がアンケート調査の集計、分析を委託している（株）地域未来研究所となります）
- 平成 27 年 12 月 4 日までにご返送いただければと思います。

【実証実験、アンケート調査の問い合わせ先】

広島市 都市整備局 西風新都整備部（担当 石飛、中村、古本）
電話：082-504-2659 FAX：082-504-2678
メール：seifu-seibi@city.hiroshima.lg.jp

【アンケート調査委託先】

（株）地域未来研究所 中国四国事務所（担当 田中）

○ 依頼文（地域活動団体代表）

地域活動団体代表者用

超小型モビリティ実証実験にご協力いただいた地域活動団体の
代表者のみなさまへ
調査ご協力のお願い

皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

西風新都では、平成 25 年 6 月に策定した「活力創造都市“ひろしま西風新都”推進計画 2013」に基づき、交通のスマート化を目指しています。

さて、この度の「超小型モビリティ実証実験」は、移動の円滑化・活性化、高齢者等の外出機会の増加等を図るため、昨年度に引き続き、環境に優しく手軽な車両として注目されている超小型モビリティを活用して、新たなまちづくりの可能性を探るために実施しているものです。

特に今年度の実証実験では、ICT 技術を活用したシステムを使って共同利用していただき、地域活動の際の新たな交通手段としての可能性について検討を行うことを目的としています。

このため、予約システムの利用のしやすさや超小型モビリティの活用意向などについて、地域活動団体の代表者のみなさまからご意見を頂きたいと存じます。

お手数をお掛けいたしますが、実証実験の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成 27 年 11 月

広島市都市整備局西風新都整備部

アンケート調査について

■調査結果の扱いについて

- 今回の調査結果は、前述の目的以外で使用することはございません。
- 今回の調査結果より、個人が特定できるような回答を公表することは一切ありません。

■調査票の回収

- 調査票は、付属の封筒により郵送してください。
(郵送先は、市がアンケート調査の集計、分析を委託している(株)地域未来研究所となります)
- 平成 27 年 12 月 4 日までにご返送いただければと思います。

【実証実験、アンケート調査の問い合わせ先】

広島市 都市整備局 西風新都整備部（担当 石飛、中村、古本）
電話：082-504-2659 FAX：082-504-2678
メール：seifu-seibi@city.hiroshima.lg.jp

【アンケート調査委託先】

(株)地域未来研究所 中国四国事務所（担当 田中）

○ 依頼文（参加モニター・地域活動団体代表）

参加モニター・地域活動団体代表者用

超小型モビリティ実証実験 参加モニターのみなさまへ

調査ご協力をお願い

皆様におかれましては、「超小型モビリティ実証実験」にモニターとしてご参加頂き、誠にありがとうございます。

本年8月17日（月）の実験開始から3カ月が経過し、終了予定の11月27日（金）まで、残りわずかとなりました。この間、モニターの皆様には車両の安全運転に努めていただき、感謝申し上げます。

さて、この度の「超小型モビリティ実証実験」は、移動の円滑化・活性化、高齢者等の外出機会の増加等を図るため、昨年度に引き続き、環境に優しく手軽な車両として注目されている超小型モビリティを活用して、新たなまちづくりの可能性を探るために実施しているものです。

特に今年度の実証実験では、ICT技術を活用したシステムを使って共同利用していただき、地域活動の際の新たな交通手段としての可能性について検討を行うことを目的としています。

このため、システムの利用しやすさや超小型モビリティの活用意向などについて、参加モニターのみなさまからご意見を頂きたいと存じます。

また、超小型モビリティの導入にあたっては、今年度の実証実験のように地域活動に共同で車両を利用することも想定されることから、地域活動団体の立場からもご意見を頂きたいと存じます。

お手数をお掛けいたしますが、実証実験の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成27年11月

広島市都市整備局西風新都整備部

アンケート調査について

■調査結果の扱いについて

- 今回の調査結果は、前述の目的以外で使用することはございません。
- 今回の調査結果より、個人が特定できるような回答を公表することは一切ありません。

■調査票の種類

- 「参加モニターアンケート調査票」と「地域活動団体代表者へのアンケート調査票」の2種類がありますので、両方にご記入ください。

■調査票の回収

- 調査票は、付属の封筒により郵送してください。
（郵送先は、市がアンケート調査の集計、分析を委託している㈱地域未来研究所となります）
- 平成27年12月4日までにご返送いただければと思います。

【実証実験、アンケート調査の問い合わせ先】

広島市 都市整備局 西風新都整備部（担当 石飛、中村、古本）
電話：082-504-2659 FAX：082-504-2678
メール：seifu-seibi@city.hiroshima.lg.jp

【アンケート調査委託先】

㈱地域未来研究所 中国四国事務所（担当 田中）

○ 参加モニターアンケート調査票（1 頁）

H27 超小型モビリティ実証実験 参加モニターアンケート調査票（実験終了時）

■はじめに、氏名をご記入ください。〔氏名 _____〕

※以下の質問について、該当する番号に○をつけるか、（ ）内に必要な記入をお願いします。

【質問1】超小型モビリティの評価について

（1）実証実験の期間中に、あなたは超小型モビリティを活用しましたか。
（1つに○）

1. 利用した
2. 全く利用していない ----->

【利用しなかった方にお聞きます。】

どうして利用されなかったのですか。（当てはまるもの全てに○）

1. 利用するような地域活動での用事がなかった
2. 利用するような個人利用での用事がなかった
3. 使いたい時に自宅のクルマが使えた（利用の必要がなかった）
4. 利用の方法が分からなかった
5. インターネットでの予約方法が分からなかった
6. 利用が面倒だった
7. その他（ _____ ）

→3ページの【質問2】へ進んでください

（2）「超小型モビリティ」を運転された評価を教えてください。（それぞれの項目について、1つだけ○）

・乗り心地	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
・操作性	1. 簡単	2. 普通	3. 難しい
・駐車しやすい	1. 簡単	2. 普通	3. 難しい
・乗り降りのしやすさ	1. 簡単	2. 普通	3. 難しい
・のぼり坂の走行性	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
・車内のスペース（前席）	1. ちょうどよい	2. 少し狭い	3. とても狭い
・車内のスペース（後席）	1. ちょうどよい	2. 少し狭い	3. とても狭い
・車内空間の快適性	1. 良い	2. 普通	3. 悪い
・窓がないことについて	1. 不便を感じない	2. 少し不便	3. とても不便
・充電のしやすさ	1. 充電しやすい	2. 普通	3. やりにくい
	4. 自分で充電していないから、わからない		

（3）超小型モビリティの運転をどのように感じましたか。（それぞれの項目について、1つだけ○）

・日頃使用している車両の種類	1. 普通自動車	2. 軽自動車	3. その他（ _____ ）
・日頃使用している車両よりも、狭い道路で便利	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない
・日頃使用している車両よりも、気軽に使えそう	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない
・運転が楽しい・気持ちいい	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない
・できれば日常生活で利用したい	1. 全くその通り	2. 少しそう思う	3. そう思わない

次のページへ進んでください

○ 参加モニターアンケート調査票（2 頁）

（４）今回の「パソコン・スマホから入力する予約システム」は利用しやすかったですか。（１つに○）

1. とても便利だった 2. まあ便利だった 3. 少し不便だった 4. とても不便だった

※そのように思われた理由や改善点を教えてください。（可能な範囲で結構です）

[]

（５）ＩＣカードを用いた「鍵ボックス」は利用しやすかったですか。（１つに○）

1. とても便利だった 2. まあ便利だった 3. 少し不便だった 4. とても不便だった

※そのように思われた理由や改善点を教えてください。（可能な範囲で結構です）

[]

（６）超小型モビリティを利用した際、日頃使用している車両に比べて、ヒヤリ・ハット※の割合が変わりましたか。（１つに○）

※ヒヤリ・ハットとは、「突発的な事象やミスにヒヤリとしたり、ハッとしたりするもの」

1. 変わらなかった 2. 増えた 3. 減った



【2.又は3.を選んだ方にお聞きます。】

どのような状況でそう感じましたか。具体的な状況や場所などを教えてください。（可能な範囲で結構です）

[]

（７）超小型モビリティを実際に利用して、便利だったこと、また問題に感じることはありましたか。もしあれば、具体的な内容を教えてください。

①「超小型モビリティ」の利用に関して、便利また問題と感じることにについて

[]

②「車両の共同利用」に関して、便利また問題と感じることにについて

[]

【質問2】超小型モビリティの活用について

（1）超小型モビリティの導入意向及び支払可能額について、お答えください。

【ア. 地域団体に活用する場合】

超小型モビリティを共同利用し、団体の地域活動へ活用することについて、どのように思いますか。
（ただし、地域団体が初期費用や維持管理費用の一部を負担することを前提とします。）（1つに○）

- 1. 導入した方がよい
- 2. 導入の必要性を感じない
- 3. その他

【1.を選んだ方にお聞きします。】

共同利用を導入するために、あなたの世帯では、年間あたり、いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。（1つに○）

- 1. 従来の団体会費で賄い、追加の個人負担なし
- 2. 100 円以下
- 3. 200 円以下
- 4. 300 円以下
- 5. 400 円以下
- 6. 500 円以下
- 7. その他（ ）

【イ. 個人として活用する場合】

超小型モビリティを共同利用して、買物や通院などの日常生活で活用できる場合、利用料の個人負担があっても利用すると思いますか。（1つに○）

- 1. 利用すると思う
- 2. 利用しないと思う

【1.を選んだ方にお聞きします。】

利用料の支払い方法には、①利用時間に応じて支払う方法と②毎月定額で支払う方法があると考えられますが、それぞれの場合についてお答えください。

■ 利用時間に応じて利用料金を支払う場合、1時間あたり、いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。（1つに○）

- 1. 100 円以下
- 2. 200 円以下
- 3. 300 円以下
- 4. 400 円以下
- 5. 500 円以下
- 6. その他（ ）

■ 個人が毎月定額で利用料金を支払う場合、1ヶ月あたり、いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。（1つに○）

- 1. 500 円以下
- 2. 1,000 円以下
- 3. 2,000 円以下
- 4. 3,000 円以下
- 5. その他（ ）

○ 参加モニターアンケート調査票（４頁）

（２）あなたは、地域の暮らしの中でどのように利用すれば、超小型モビリティの活用が進むと思いますか。（将来、市内の他の地域へ導入することもイメージして、ご意見やアイデアなどをお聞かせください）

（３）超小型モビリティの共同利用が普及した場合、あなたの世帯では自家用車の利用がどのくらい減ると思いますか。（１つに○）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------|
| 1. 全く減らない | 2. 1割程度減る | 3. 3割程度減る |
| 4. 5割程度減る | 5. 7割程度減る | 6. 自家用車を利用しなくなる |

（４）最後に、今回の実証実験や超小型モビリティに関する意見をご自由にお書きください。

質問は以上です。ありがとうございました。

○ 地域活動団体代表アンケート調査票（1 頁）

H27 超小型モビリティ実証実験
地域活動団体代表者へのアンケート調査票（実験終了時）

※地域活動団体の代表にご質問します（実験中の車両活用についてご存じの方）

■はじめに、氏名等をご記入ください。

町内会・団体名

氏 名

※以下の質問について、該当する番号に○をつけるか、（ ）内に必要な記入をお願いします。

【質問1】超小型モビリティの評価について

（1）地域活動に超小型モビリティを活用して「効果があったこと・良かったこと」を教えてください。

（2）地域活動に超小型モビリティを活用して「問題だったと思うこと・困ったこと」を教えてください。

【質問2】車両の共同利用や予約システムについて

（1）団体の中に、パソコン・スマホからの予約ができない・分からない方はいましたか。

予約できない人は、どのようにして予約をされましたか。

予約ができない・分からない方がいらっしゃったら、（ ）内に○をつけてください。→（ ）

（2）車両の予約や鍵ボックスの使用に関して、トラブルや問題などはありませんでしたか。また、改善が望ましい点がありますか。（可能な範囲で結構です）

【質問3】 共同利用の地域定着の可能性について

(1) 貴団体では、今後、超小型モビリティの共同利用の仕組みを導入したいと思いますか。(1 つに○)

1. 団体の費用負担が必要でも導入したい
2. 団体の費用負担が不要ならば導入したい
3. 導入の必要性を感じない
4. その他 ()

(2) もしも導入する場合、貴団体では、1 カ月にどの程度まで支払うことができるとお考えでしょうか。
(導入の必要性をお感じにならない方も、いくらなら払ってもよいかを教えてください)(1 つに○)

1. 1 千円以下 2. 3 千円以下 3. 5 千円以下 4. 1 万円以下 5. 3 万円以下
6. 3 万円超 7. その他 ()

(3) もしも、超小型モビリティの共同利用を導入すれば、今後どのような活動に使ってみたいとおもいますか。(可能な範囲で結構です)

(4) 実際に貴団体に本格導入する場合に、事前に検討すべき項目や留意すべき点などがあれば、教えてください。(可能な範囲で結構です)

質問は以上です。ありがとうございました。

2